学校だより　第 12 号

令和６年２月 29 日　発行
京都府立向日が丘支援学校
京都府長岡京市今里南平尾８－１
Tel 075-951-8361　Fax 075-951-8362
http://www.kyoto-be.ne.jp/mukougaoka-s/

あなたの卒業の日に

この校舎にみんなで引越しをしてきてから、もう半年が経とうとしています。

そして、また「卒業」の季節がやってきました。

令和5年度、小学部を卒業する 11 名のみなさん、中学部を卒業する 12 名のみなさん、そして高等部を卒業する 22 名のみなさん、卒業おめでとうございます。

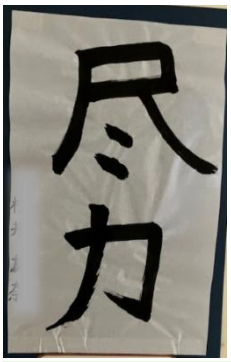
小学部、中学部を卒業するみなさんは、春からは次のステージに進み、更に自分らしさに磨きをかけ、友達とともに成長してくれることを期待しています。

そして、高等部を卒業するみなさん。みなさんは、いよいよ「学校教育」に別れを告げ、春からは社会人として歩んでいくことになります。今日まで、自分の進路先を決める過程では、「自分に向いていること」や「自分のやりたいこと」を自分の中に問いかけながら、何度も実習に挑戦し、そして悩みながらも自分の未来を決められたことと思います。

春からは、その未来を実現するために歩む日々が続きます。

私は、今年 63 歳になりますが、実は、私にも高校生であった時期がありました。

その頃は、日本の社会全体で高い学歴、高い収入といった一つの価値観を追い求める傾向がありました。まさに時代は高度成長期でした。それから 40 年余りが経ち、日本の社会を取り巻く状況は大きく変化してきています。今、私たちは、人間の多様性を尊重し、全ての人が自分らしく、幸せに生きることができる社会を追及しています。そしてここで言う「幸せ」とは、決して経済的な豊かさのみを指すのではありません。社会の中で、役割を得て、役割のために力を尽くすこと、誰かに感謝し、また感謝されること、自分の好きなスポーツなどに打ち込むこと、友達と楽しい時間を過ごすこと、家族と一緒にいること、人によってその姿は違うように思います。



高等部卒業生の書初

私たちは、卒業生ひとりひとりが、自分らしく未来を歩み、人とつながり、社会の中で人としての幸せを実現してほしいと、心から願います。そして、みなさんが、みなさんの「幸せ」を実現するとき、それは、家族の、友達の、そして地域の「幸せ」につながると信じています。みなさんひとりひとりが、そう、あなたこそがこれからの社会を変えていくことができる、そういう大切な存在なのです。

私たち向日が丘支援学校は、未来の社会にみなさんを送り出すことを誇りに思います。そして、これからもともに歩んでいくことを誓います。

京都府立向日が丘支援学校　校長　平岡　克也

大谷翔平選手からグローブが届きました！

昨年末に話題となっていた大谷翔平選手から全国の小学校、特別支援学校に配られたグローブが本校にも届きました。そこで、本校では同じ乙訓地域にある京都府立乙訓高等学校の硬式野球部の生徒に来ていただき、野球教室と題して小学部 11 組の児童と交流を行いました。交流中は、グループを編成し、高校生が主体となって本校の児童がボールの投げ方や捕り方、打ち方を教わりました。どのグループも常に盛り上がっていて楽しく活動している姿が見られました。

今回、このような縁をいただくきっかけとなった大谷翔平選手。また、交流をしていただいた乙訓高校硬式野球部のみなさん本当にありがとうございました。